

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/image1.pdf>

平成26年12月19日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件
2. GⅡグレード 0件
3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	屋内・屋外設備のボルト・ナット類緩み調査を実施し、複数機器においてボルト・ナット類の緩み・外れを確認した。今後、計画的に点検・修理。なお、当該箇所の緩み・外れによる機器等への影響・異常はなし。	
2	3号機	タービン建屋高電導度廃液系サンプ(B)液位表示器の点検時、フロートの浸透探傷検査にて指示模様を確認した。当該液位表示器を修理。	
3	3号機	発電機密封油装置において拡大槽内の油面が高くなっていることを示す警報が発生し、油面が高くなると油が入るサイトグラス(配管内の油を目視で確認する機器)の中に油があることを確認した。当該装置を点検・修理。	
4	7号機	気体廃棄物処理系水素分析計入口圧力指示計の点検時、誤差が管理値を超えていることを確認した。当該指示計を修理。	
5	7号機	気体廃棄物処理系水素分析計サンプル温度指示計の点検時、誤差が管理値を超えていることを確認した。当該指示計を修理。	
6	その他	荒浜側雑固体廃棄物焼却設備の運転時、焼却設備計算機に異常を示す警報が発生し、スラッジ供給機重量計の指示が変動を繰り返す事象を確認した。当該重量計を点検・修理。	